

工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

2020.2.26

18号

測量業務委託での作業員負傷事故！

【令和元年12月25日事故発生】

※測量調査において、足場が不安定な場所での滑り等による事故が、他にも数件発生



移動経路①



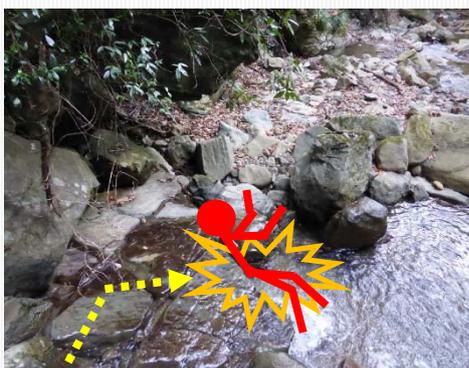
移動経路②



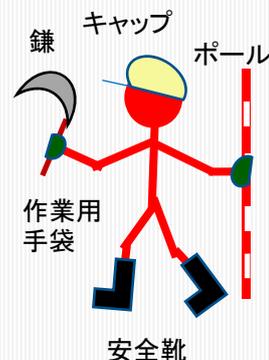
移動経路③



移動経路④



測量助手の装備等



●事故概要

・道路平面図作成のため測量助手が道路沿いの河川内を移動中、濡れた石で足を滑らせ転倒して頸椎を負傷。

●事故原因

・業務計画書作成時に委託箇所の踏査により必要な設備・装備等確認の上、安全確保を図って作業を行うとしていたが、運用されていない。 (河川内測量箇所での必要な装備が準備されていない。)

・作業時に鎌などを手に持ち移動しており、緊急時に体を支える等、手が使えるような装備、配慮がなされていない。

●再発防止策【概要】

・社内全体の安全管理意識向上のため、社内研修会を行い社員の意識改革を行う。

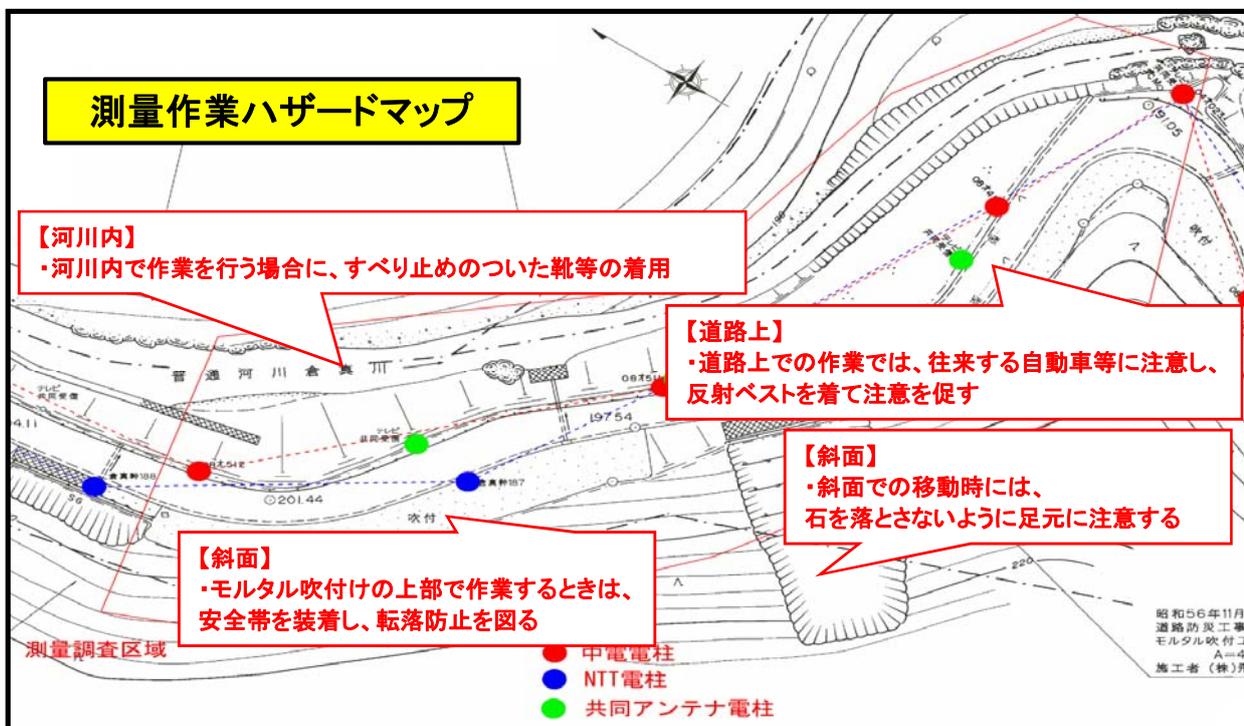
・現場状況を確認の上、ハザードマップを作成し、作業開始前ミーティング実施時に、それにより作業範囲内の危険箇所を把握し全作業員への周知・情報共有を図る。

【詳細な再発防止策】は、裏面参照⇒

●再発防止策 1

作業者全員による安全管理の徹底

- ① 事前に業務委託範囲内の様々なリスク(交通・地形・気象条件等)を予測し、そのリスクを図上に示すようなハザードマップを作成する。
- ② 現場出発前にハザードマップで、危険箇所について作業者全員で認識し情報を共有する。また、「作業安全チェックリスト」の記入を行い、作業時の留意点、各現場に応じた適切な装備(ロープ、ヘルメット、専用靴、ザック、腰ベルト等)を用意し、周知・共有する。
- ③ 作業開始前に現地にて、ハザードマップを用いてKYミーティングを行い、危険箇所の再認識、必要装備の着用の確認を作業者全員で行う。
- ④ 状況に応じて、転倒時の衝撃に対応したクライミングヘルメットなどを着用する。
- ⑤ 足元の状況に応じた専用靴(安全靴、ハイキングシューズ、溪流シューズ等)にその都度、履き替える。
- ⑥ 作業中の移動には、ザックや腰ベルトに測量用機材や道具を収納して、少なくとも片手は自由な状態で移動する。
- ⑦ 作業中は、作業者全員が安全意識を共有し、互いの声掛け・指差呼称などを行い、不注意な行動を起こさないよう相互に監視する。
- ⑧ 定期的に現場パトロールを行い、適切な安全管理の元で、現場作業が実施されているかどうかを確認する。



●再発防止策 2

安全意識向上講習会の実施

- ① 社内の安全意識向上を目的とし、外部講師を招いた労働安全に関する社内講習会を早急に実施する。(パート職員を含めた社員全員で受講)
- ② 地区の労働基準協会に加盟し、講師を招いた講習会・労働安全に関するDVDを用いた講習会を定期的開催する。
- ③ 新たに従業員を雇い入れた場合は、当該従業員に対し、労働安全に関する講習を速やかに行う。

●再発防止策 3

ヒヤリハット活動の実施

- ① 業務中、ヒヤリハットの事例が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を提出する。
- ② 提出されたヒヤリハット報告書の内容を分析し、災害に繋がるリスクの高い事例に対しては、早急に対策を講ずる。
- ③ 提出されたヒヤリハット報告書は、グループウェアでの回覧・定期的開催する安全管理講習会などで、全社員に周知する。